

委員会 レポート

委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。

総務委員会

付託案件の審査

5月27日、3月定例会で付託され、継続審査になっていた請願1件を審査しました。



里区集落センターの現況

◎請願第1号 里区集落センター建設に伴う助成請願

審査に当たっては、現地調査を行い、また、執行部にも意見を求め、慎重に行いました。

- ・ 委員からは、
- ・ 国・県の助成制度の積極的な利用と助成割合
- ・ 請願が実現した場合の助成要項の作成
- ・ 今後の集落センター建設の考え方

などの意見が出ましたが、著しい老朽化に伴い、集落センターとしての機能を十分果たせなくなっていることなどから、請願の主旨・内容は妥当であると認め、全会一致で採択すべきとしました。

建設委員会

所管事務調査

5月19日～27日の間、6日間にわたり、市内道路整備要望箇所について所管事務調査を行いました。

現在、道路整備要望箇所は249箇所あり、その中には生活道路も含まれ、地元から早期整備が強く望まれています。

今回の調査では、緊急車両などが通れない幅の狭い道路など市民生活に支障を来している箇所を目的に、計画的な早期整備の必要性を痛感しました。この調査結果を、今後策定する予定の『道路整備計画』に

反映できるところ引き続き、調査活動を進めていきます。



経済委員会

所管事務調査

5月21日、所管事務調査を行い、取り組むべき課題の検討や現地調査を行いました。

今年度の課題として、米の生産調整や土採取跡地の農地転用、ごみ袋価格・処理手数料の改定、商工会合併などが挙げられます。これらは市の発展や市民生活に深く関わってくることで、適正な事業の遂行を求めます。

今後課題の解決につながるよう、委員会として意見を提言していきます。



教育厚生委員会

所管事務調査

6月20日、学校適正化配置や授業風景について所管事務調査を行いました。

「学校等適正配置計画」が策定され、市では具体的な内容を取りまとめる段階に入りました。今回は、望ましい学校規模や配置の在り方などについて執行部を交えて意見交換を行うとともに、複式学級編成校や今後建設が予定される麻生地区の中学校を現地調査し、授業状況や学校施設の状態を把握してきました。今後適正化に向けた調査を行っていきます。

